

会 議 録

会 議 の 名 称	第 1 回茨木市地域エネルギービジョン策定委員会
開 催 日 時	平成22年 7 月27日（火） 午後 3 時 開会 ・ 午後 5 時 閉会
開 催 場 所	茨木市役所 南館 3 階防災会議室
委 員 長	玉井 昌宏
出 席 者	磯崎 強志、大石 ひとみ、加藤 浩幸、兼森 軍二、黒川 裕之、 鈴木 眞由美、玉井 昌宏、西島 貞夫、藤田 紫、村瀬 径介、 山口 容平 (11人)
欠 席 者	今堀 洋子 (1 人)
オブザーバー	高原 一嘉、石田 博文 (2 人)
傍 聴 人	2 人
事 務 局	田中産業環境部長、島本環境政策課長、 松本環境政策課長代理兼政策係長、井澤職員、 畑中第 2 計画部長、中川研究員、渡邊研究員（㈱地域計画建築研究 所大阪事務所） (7 人)
議題（案件）	1 議題 (1) 茨木市地域エネルギービジョンの策定について (2) 調査方法について 2 その他 (1) 第 2 回策定委員会の開催日時について
配 布 資 料	1 茨木市地域エネルギービジョンについて 2 策定スケジュール 3 地域特性 4 上位・関連計画の状況 5 エネルギー需要量の推計について 6 アンケート調査について(案) 策定委員会設置要綱 策定委員会委員名簿 座席表 審議会等の会議の公開に関する指針 傍聴要領(案)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 委員紹介 ・ 委員長・副委員長の就任について 委員長に玉井委員、副委員長に藤田委員を満場一致で選出 ・ 委員長あいさつ
委 員 長	<p>他市でも策定されているが、実行性が乏しいように感じている。また、事業者は積極的だが、市民の行動を喚起することが難しいようだ。市民が自ら積極的に活動できる内容にしていきたい。皆様の闊達な意見をお願いしたい。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議等の公開について 本会議の公開、傍聴要領案について満場一致。また、会議の資料も傍聴者に許可する。 議事録は発言者の氏名を明らかにせず、要点をまとめたものを公開とする。
	<p>1 議事</p> <p>(1) 茨木市地域エネルギービジョンの策定について オブザーバー及び事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 茨木市地域エネルギービジョンについて ・ 策定スケジュール ・ 地域特性 ・ 上位・関連計画の状況 ・ 質疑応答
委 員 長	<p>オブザーバーから説明があったが、事業化とはどのような主体で、どのような事業のことを言うのか。</p>
オブザーバー	<p>新エネルギーは、太陽光発電や風力発電の導入が考えられる。省エネルギーについては、ESCO事業、普及啓発などがある。実施主体は民間、自治体どちらでも構わない。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委 員 長	<p>今回策定するビジョンとは別に、事業者が独自にされていることは、事業化したことに含まれるのか。たとえば、茨木市が既に実施している補助事業は含まれるのか。</p> <p>また、今回策定するビジョンのアウトカムのイメージは何か。</p>
事 務 局	<p>今回のビジョンでは、今後の新エネルギー、省エネルギーの導入に係る方向を示すことを目標としている。既存事業に対しても具体的な目標等を定めていないため、調査を踏まえ目標等の設定を検討したい。また、環境家計簿を始め、既存事業をブラッシュアップしていきたい。</p>
委 員 長	<p>目標は、例えば太陽光発電であれば、導入量を具体的な数値で示したものとなるのか。</p>
Ｊ 委 員	<p>普及啓発という概念がはっきりとしない。市民の行動を喚起することととらえればよいのか。また、啓発にかかる具体的なスケジュールや目標、内容も示していくのか。</p>
事 務 局	<p>目標等については、今後具体的に検討していく。</p> <p>市民に対する啓発は重要だと捉えている。太陽光発電の導入補助金、環境教育等の啓発事業が考えられる。</p>
オブザーバー	<p>今回は初期ビジョンのため地域の状況調査、方向を示すことがメインになってくる。重点ビジョン、フィージビリティスタディと段階をおって啓発の内容を積み上げていくのも、一つの方法である。</p>
Ｊ 委 員	<p>一言で啓発といっても啓発は難しいことである。例えば、太陽光発電であれば、設置により具体的な数値を示すことなどが考えられる。何をもってどれだけエコなのかというのを知らせていくことが必要となる。</p> <p>アンケート調査を実施することになっているが、その内容は市民がどのようなことに興味をもっているのかといったことを探るのか、それともこちらから一方的にメニューを提示するのか。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事 務 局	アンケート調査は、現状を把握する内容と市民の興味を探るような内容としていきたい。調査項目の詳細については、検討中である。
委 員 長	太陽光発電は、市庁舎につけているのか。
事 務 局	庁舎にはつけていないが、彩都西小学校、新設の南市民体育館などには設置している。また、太陽光の設置だけでなく、モニターを設置し発電状況等を数値で見ることができるようになっている。データを示すことで、普及啓発を行っている。 太陽光発電は住宅向けの補助金も実施しており、このことが普及啓発につながっていると思われる。
G 委 員	太陽光発電であれば数値目標を示し、そのための対策を打ち出していくのか。国の長期需給見通しでは、現在の約20倍設置する数値目標を掲げている。茨木市は、2020年に向けてそのような目標設定を行うのか。導入目標をどのように考えているのか。 新エネルギーについては、賦存量だけでなく、目標設定を行い施策を打ち出していくのか。他市町のビジョンでは賦存量、導入可能量の調査のみで、今後の展開が見えていないものが多く、その点が明らかになったビジョンを策定できればよいのでは。
事 務 局	本年度は、初期ビジョンのため現況把握の基礎調査を行い、今後の方向を示すことに重点をおいている。今後の検討によるが、重点事業等についても示していきたい
	(2) 調査方法について 事務局より説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ エネルギー需要量の推計について ・ アンケート調査について(案) ・ 質疑応答

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
A 委 員	<p>削減目標年度はいつに設定するのか。</p> <p>社会経済モデルを利用したシミュレーションを行う場合に、どこに茨木の情報が入ってくるのか。事業所の床面積などの社会経済に関するパラメーターについては、できる限り茨木市の情報を考えるべき。</p> <p>アンケートの活用方法を教えてもらいたい。社会経済モデルのパラメーターの調整を考えているのか。</p>
事 務 局	<p>2050年までは考えていないが、2020年ぐらいまでを念頭においている。今後目標年度についても検討していきたい。</p> <p>暖房、冷房需要について、アンケート調査でエネルギー消費量を把握するため、その結果を踏まえたものとする。</p> <p>社会経済モデルについては、茨木市の情報が入手できるものは対応していく。</p>
委 員 長	<p>アンケートの結果と社会経済モデルだけで議論するのではなく、既存の色々なデータを利用したらわかりやすいのでは。例えば、市域のエネルギー需要の傾向などデータはないのか。</p>
事 務 局	<p>市域のエネルギー需要の傾向など、実態は把握できていない。市域全体でのエネルギー消費量は把握しているが、市民の消費分、事業所での消費分などの消費実態は分からない。</p>
委 員 長	<p>社会経済モデルの検証は、どのように行われるのか。過去に遡って、モデルと現状の誤差がないかフィッティングを行うのか。</p>
事 務 局	<p>どこかで1か所年度を決め、現況とシミュレーションの数値調整を行う。今のところ、2005年度を予定している。それ以前、90年になるとデータがそろわない場合がでてくる。</p>
G 委 員	<p>これまでの議論を踏まえると、今回の計画策定はボトムアップを重視しているように感じられる。茨木市として2020年のエネルギー政策をどうするのか、一定の姿勢を示した上で施策のよりどころと</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
	<p>なるようなビジョンにしていっていただきたい。2020年のまちづくりのビジョンとエネルギーのビジョンと、二つの方向で見ていくことが重要ではないか。</p>
事 務 局	<p>第4次総合計画は平成27年度を目標にしている。そのなかで、市民、事業者、市が連携して環境への取り組みを実践するとうたっている。この方向との整合をとっている。</p>
G 委 員	<p>本編は、ホームページで見ることができるのか。 国が先般、閣議決定したエネルギー基本計画と茨木市の特性を踏まえたビジョンということになるのか。</p>
B 委 員	<p>策定スケジュールについて、3回目からの議論が難しくなってくると思われる。 啓発は非常に難しい。以前、彩都にビオトープを見学にいったが、管理が十分ではなく枯れていた。事前に十分な調査がなされていなかったのではないだろうか。何かを言って、やったらやりっぱなしの傾向がある。太陽光発電にしても、設置だけでなく、設置後のことや将来的に誰かが続けていくことを、啓発しなければ意味がないのではないか。</p>
A 委 員	<p>同じようにシミュレーションを研究しているので、今回のシミュレーションの結果は一定わかるが、やるべきことが定着していくことが一番重要なことである。そこに対するアイデアがないように感じている。その点について、具体的なアイデアまで委員会に求めているのか。モデルに対する意見は言えるが、実際の行動に対する意見を求められると厳しい。 また、導入すれば定着するものではない。新エネルギービジョンと言ったときに、具体的な推進施策が打ち出されていない。その具体的な施策まで打ち出すのか。ビジョンにおける実行性をいかに担保するのか。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事 務 局	<p>ビジョン策定で終わりにするのではない。ビジョンで方向性、目標設定を行い、次の段階で計画の推進について進捗評価を行っていく。</p> <p>また、ビジョンは10年スパンであるが、3年から5年で見直しを予定している。ビジョンの方向性、目標設定、さらに進捗管理について議論いただきたい。今回の短期間の策定のなかで具体的な方策まで、議論するのは難しいと考えている。これは初期ビジョンなので、具体的な事業については次の段階で検討を行っていききたい。</p>
委 員 長	<p>現況のデータのみで、どのように目標設定を行っていくのか。</p>
D 委 員	<p>電力会社、ガス会社などは、過去のデータを持っていると思われるが。</p>
E 委 員	<p>私は結婚してからの光熱水費を、これまでずっと記録している。また、会員同士でもデータを照らし合わせ、比較を行っている。経年のデータを持っている人なら良いが、一般の人が数字で比較していくのは難しい。</p> <p>市民に3か月間の環境家計簿の記帳を呼びかけたところ、当初は150人が実施したが、年を経ると50人になり、だんだん減ってしまった。市民の意識が十分でない中で、自分の生活にかえってくる形で啓発してもらいたい。</p> <p>若い方は、積極的に太陽光発電を設置する傾向があり、業者によっては施主の年齢で判断し、営業をしているところもある。</p>
F 委 員	<p>過去のデータについては、十分に協力させていただく。</p> <p>資料3について、ビジョンから地域施策編に結び付いていくようになっているが、具体的な施策についてはこの地域編に入ってくると捉えてよいのか。</p>
事 務 局	<p>そのつもりでいる。</p>

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
委 員 長	全体の位置づけと取り組み方がわかりづらいので、事務局で整理していただきたい。
B 委 員	アンケートは、できるだけわかりやすい文章でお願いしたい。
A 委 員	N E D O に提出した、計画書を見ることはできるのか。
事 務 局	参考資料として提示させていただく。
C 委 員	N E D O の補助金をもらって作っているので、補助金申請の際の目的を委員で共有することが必要だと思う。
	(3) その他
	・ 次回第 2 回策定委員会は 9 月 21 日 (火) 15 : 00 ~ 17 : 00 (場所は追って連絡)
	閉会